



## 第4回 学校運営協議会だより

令和5年3月14日  
横浜市立山王台小学校  
校長 遠藤 清美

令和5年3月3日(金)に、第4回目の「学校運営協議会」が行われました。その際にいただいた意見などを紹介させていただきます。

### 1 令和4年度 学校運営協議会委員



### 2 第4回 学校運営協議会の内容

- ・6年生巣立ちの会参観 ・中期学校経営方針振り返り ・今年度の学校評価について
- ・来年度の日課表について ・来年度の学校行事等について 等

#### (1) 巣立ちの会について

- ・巣立ちの会の「目的、ねらい」をはっきりさせ、子どもたちが何を目指し、何にこだわっているのか、それをじっくり考えさせることが大切。
- ・目指すことをはっきりさせることで、限られた時間の中でつくること、内容が決まってくる。
- ・6年生の感謝の言葉が同じものばかりであった。子どもがいろいろなものに縛られているかもしれない。

## (2) 中期学校経営方針振り返りから

○確かな学力の振り返りについて。

- ・分析したもの、考察したものをきちんと教員で共有していく。そうすることで、次年度の個の学びの見取りに結び付く。
- ・学力・学習状況調査のチャート図に考察結果をきちんと付けると、保護者に分かりやすく伝わる。
- ・成果と課題を示すことで、次年度へ結び付けることが大切。
- ・各教科、横浜市の平均通過率よりも低いのは何が原因かよく考え、もっと学習しないといけない。
- ・小学生のうちに、もっと勉強をしなくてはならない。
- ・勉強、勉強で子どもたちもきつい。もう少し緩めることも必要かもしれない。ゆったりとした環境で温かく育てることも大切。

## (3) 学校評価の内容から

ア 自分づくりパスポートについて

○「自分づくりパスポート」などを活用し、自分の成長を感じていると答えた児童は半数以上であったが、保護者は約1割、教員は約2割が「自分づくりパスポート」の活用が児童の自己評価に結びつくことに「あまり思わない」と評価した。

それに関する意見として、次のようなものがあった。

- ・いろいろな面で振り返ることは大切。
- ・小学生のときは、こうだったと振り返りを行えるのはよいこと。
- ・子どもが目標を書いて、保護者も確認できるのはよいことだと思う。
- ・内容によっては、子どもが縛られる感じになるのではないか。
- ・中学校においては、自分の振り返りになっているのか疑問に思う部分がある。
- ・何のために行っているのか、子どもがきちんと知ることが大切。魅力を伝えていけばよい。
- ・保護者に分かりやすく伝えていくことが重要。
- ・自分づくりパスポートについて協議会で学んでいったらどうか。

## (4) その他

- ・子どもたちの挨拶についてはそんなに心配しなくても良いと思う。学校から帰る時はいっぱい挨拶をしてくれる。
- ・中学生は挨拶もほとんどしない。家庭の原因が大きいと思われる。

- ・特別支援教育で先生の手が足りないとも感じる。ボランティア等が頼りになれば。
- ・今の子どもは自由奔放である。
- ・小学校のころはできるだけ体力をつけて欲しい。
- ・アスリートは自分をきちんと分析している。児童の学校評価も親と一緒に思い  
考えていくことが必要になってくると思う。
- ・保護者がキャリアパスポート、特別支援を知らない事例があることがわかった。  
親へのきちんとした説明、地域への説明を地道に進めていくしかないと思う。
- ・年々いろいろな子どもたちがいる中で、特別支援教育は大変であるが、とても  
大事になってくると思う。
- ・発信の仕方により、学校への地域の協力も得られると思う。コーディネーターの  
方にも発信していただけるとありがたい。
- ・我々が子どもたちを、ほんわかにも、温かく見守り育てていくことが大切。

今年度発足しました学校運営協議会、全4回を無事終えることができました。  
委員の皆様には様々なご意見をいただき、山王台小学校を皆で支え、子どもた  
ちの成長を見守ってくださりありがとうございました。

まだ1年目を終えたばかりですが、次年度からも、保護者、地域の皆様の先  
頭に、協議会の委員の皆様にも立っていただき、よりよい学校づくりを協働で進  
めていきたいと思っております。一年間本当にありがとうございました。

